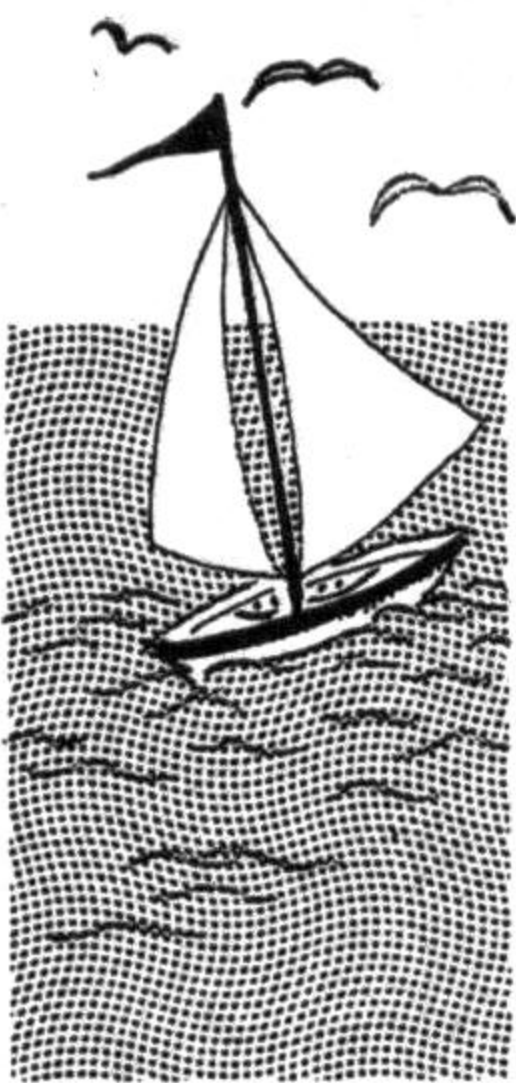


2004年
8月 No. 262

SINCE 1977

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

● **coordinator**
【名-1】調整【ちようせい】
取りまとめ役

● **Coordinator of [じぎょう]の**

● **Coordinating International**

● **policy coordinator**
政策【せいさく】の調整役



活躍する
つながる
達人たち

さまざまな機関で、柔軟なコーディネーターをし、ネットワークづくりをすすめている達人たちにスポットをあて、コーディネートすることへの想いをお聞きしました。

つながる達人たち

長野工業高等専門学校
曾田由紀子さん

長野高専では学校内でボランティアの活動支援をしています。中心メンバーはボランティア担当の私と今年度は3名の「交流係」の学生で、活動を行う際の手続きやボランティアに関する情報の掲示などを行っています。実際の活動は、校内の同好会で「おもちゃの病院ながの」というボランティアグループに参加し、授業で習った技術を活かして子供たちが持ち込む、おもちゃ

▼ みんながネットワーク

このかわらばんは信販販売センターのご好意で一部の地域へボランティアで配付いただいています。

毎月1回発行/購読料・年間300円
[購読料は会費に含まれます]

修理をおこなったり、保育園に文化祭のクラス企画で製作した観覧車の模型を持つ



て出前ボランティアにでかけて子どもたちと交流をしたりしています。これらは高専ならではのボランティア活動ではないかと自負しています。

こうした活動をするときの学生たちは、学校では見せたことも無い笑顔をしていたり、普段は内に秘めている優しさを見せたりします。誰の目にもわかるほど輝いているんですよ。私にとってそんな学生の成長する過程を見ることのできることは、たいへんな喜びですね。

以前はボランティアをする学生の数がどんどん増えて欲しいと思いがながら、なかなか活動の輪が広がらないことに悩んだ時期もありました。しかし今では活動をしている学生たちの成長を実感し、数は少なくても一人ひとりが学校以外の場所で得るものがあり、のびのびと成長していければそれで良いのだと思えるようになって

りました。ボランティアに目覚めて、卒業後に仕事をしながら活動を続けている子もいるんですよ。きつと活動や、そこでの人々との出会いによって楽しさを知ったのでしょね。

今後も私があまり意図的に働きかけるのではなく、学生たちの自発的なやる気を大切にしていきたい。その年の学生のやる気や個性によって、活動に波もでてくるでしょう。いま私がやるべきことは、学生がボランティアをしたいと思ったときに活動を始め、そして継続していかれる受け皿を作ることだと思えます。

聞き書き/宮澤久美子

絆をつくる達人たち

障害者共同作業所
どんぐり作業所
上條和哉さん

どんぐり福祉会「どんぐり作業所」(長野市篠ノ井会)の上條和哉さんに話をうかがいました。上條さんは、長野市社協に2年ほど勤務された後、市民新聞の記者から「柿木農場」(篠ノ井)が知的障害者の就労に関心をもっていると聞き、知的障

害者を中心とする障害者の社会参加と、雇用拡大の願いを込めて平成13年5月、受け皿として福祉会を発足をさせました。

今、私たちの地域には、障害をもちながら社会で自立したいと願っている人たちが何人もいらつしやいます。もう少し時間をかければ企業就労が可能と思われる方、雇用にはやや隔たりがあるけど周囲の人たちと共に地域に根ざした社会生活を送りたいと思っている方々などです。そうした障害を持った人たちには少なからず周囲の人たちの支援が必要となります。そこで、上條さんは多くの人々の支援を得ながら平成14年3月、どんぐり作業所を開設させたのでした。作業内容は20羽の鶉骨鶏卵の飼育や季節に応じて無農薬に近い畑作業、えのきの選別や袋詰めの下請け作業などです。

上條さんの行動力とアンテナの感度、人脈はとても素晴らしく、作業所では少しでも経費を節減するために、「ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク」への参加によって「トエネック」さんから事務ロッカーを、中谷商事さんから時計や冷蔵庫の物品提供を受けてきました。

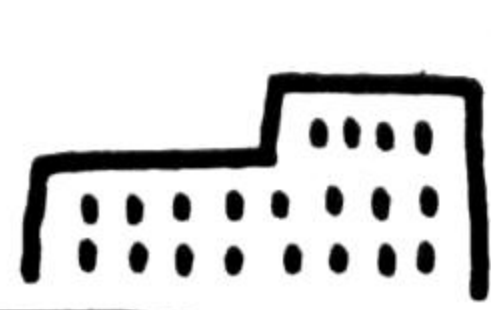
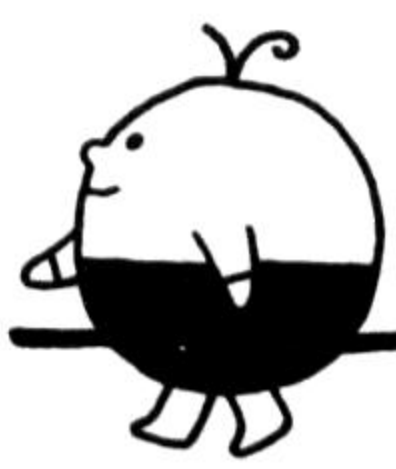
良い付き合いができて、地区バザーへ出品したり、篠ノ井支所や社協、篠ノ井東商店街には鶉骨鶏卵と野菜を供給しています。松代では「エコールド松代」のこだわりの食材の一つとして鶉骨鶏卵が採用されて大好評でした。

「自分たちで一生懸命作った物を買ってくれる人、美味しいといつて食べてくれる人、販売を通じていろんな人と出会え、そこから働くことの喜びを感じ、自分たちの活動が意味のあるものになればいいな」。上條さんは常にそう思っているそうです。上條さんの人柄によって、たくさんの方が、輪が広がっていきます。



今後の課題は、売る場所の提供や下請け作業の依頼情報をより多く入手することだそうです。ご紹介した上條さんは弱冠27歳。5年後には社会福祉法人の認可所得をめざしていると瞳を輝かせて話してくれました。

取材/込山 哲也



絆をつくる達人たち

松代地区社会福祉協議会
松代ボランティア室

坂口和美さん
丸山嘉子さん

松代ボランティア室がスタートしたのは平成13年6月のこと。当時、地区内では横のつながりがなく、さまざまな機関が独立して動いており、ボランティアたちは、わざわざ長野へ出かけて活動しているという状態でした。

これに疑問を感じたのがコーディネーターの坂口和美さんと丸山嘉子さんです。二人とも「地元でボランティア活動が根付いてほしい」との思いを日増しに強くしていきました。

そんな二人が着手したのは、本来業務のほかに養成講座を開いたり、受け皿づくりやフォローアップなどに力を注ぐことでした。

もともと坂口さんの仕事は「地域福祉サービス」、丸山さんはそれに加えて「松代地区社協」の仕事も兼務しています。しかし二人は、二つの仕事に境界線を引かないばかりか、あらゆる問い合せや要請に応える姿勢を貫いて、次々と新たな事業を仕掛けていったのです。

絆をつくる達人たち

介護老人保健施設

コンフォート岡田
片岡美也子さん

すると、徐々に周囲が協力してくれるようになり、センターを開放すると、いろいろな人が訪れ、情報も集まるようになっていきました。実際、センター内にある掲示板やテーブル、展示物などはすべてボランティアの手で揃えられたものばかりです。

歴史ある街で新しいことを始めるのは、けっして容易ではありません。しかし二人は「なにより地域の人の交流が楽しみです。大勢のボランティアのみなさんも私たちの後押しをしてくれまし」と語ります。

松代ボランティア室が活発な秘密は、どうやら「人好きで明るいコーディネーターの人柄」と「仕事の幅広い捉え方」の2つにありそうです。

取材 / 盛田芳文



丸山 さん

坂口 さん

介護老人施設「コンフォート岡田」の支援相談員として、外部との調整役をする片岡さん。「ここはボランティアの必要性の高い場所なんです。ボランティアをやりたい人がみえた時には、やるのではなく、ここでボランティアをしようと思ったきっかけや、ここで何がやりたいかを聞き、それに対応していきます。その人の一番得意なことをやつてもらおうことで、できるだけ活性化したいと思っています。必要なことを表に出していくことで相手のできることを引き出していきます。」と片岡さん。片岡さんを軸にして、コンフォート岡田でのボランティアの輪は、ますます大きく広がっています。5年前、朝陽小学校の1クラスが、長期にわたってボランティア活動をしたことがあったそうです。その時も片岡さんは、先生や子どもたちと「何ができるか」を一緒に話し合うことでボランティア活動を進めていきました。そして活動が進んでいくにつれ、子どもたちが入所者個人の占有空間なり、個人の心の領域に踏み込んでいくという大きな壁にぶつかります。子どもたちの中に湧き上がってきた「受け入れてもらえていないのではないか」という不安。それを乗り越え、個人と個人の関わりをつくるため、子どもたちが考えたことは、一対一で話をしながら似顔絵を描く、ということでした。結局子どもたちが卒業するまで活動は続けられました。その後、その後の小学校からボランティア活動の申し出があるそうですが、この時の朝陽小学校の活動が基本になっっているそうです。



コンフォート岡田はH7年に介護老人施設として開所、H14年に増床して現在150床となっています。開所当時、利用者の家族の方がボランティア活動をされたのが始まりだそうで、年間、延べ700〜800人がボランティア活動をしているとか。オカリナ、トーンチャイム、マリンバなどの音楽関係、ギャラリーとしての絵の展示など、そのボランティアの種類は多種多様です。

取材 / 勝田貴子

レクリエーション講座

サマチャレ2004事前研修会

お茶のみサロン、児童センター、施設等、レクリエーションを必要とする場面が増えていきます。

参加者は50人を超え、日本レクリエーション協会の盛田先生の巧みな指導により、座ったままでもできる手遊びから、身体を使ったちよつとハードなレクリエーションまで楽しみながら習得しました。

人と人をつなぐ潤滑油としてのレクリエーションの魅力を感じていただけたようです。



7月17日(土)にサマーチャレンジボランティア2004事前研修会が開催されました。

映画「さまちやれく泣かないで、マンダリン」を鑑賞後、この映画のモデルで、サマチャレ参加経験もある林宏美さんと、田畑静吾さんによるメッセーજトークでは、多くの参加者が感じる「不安」について話が進められました。

参加者と受入先担当者との顔合わせも行われ、実際にボランティア活動に入る前の基本的な知識の習得や心構えを持っていただきました。



ボウセンだより

夏真っ盛り！ボウセンではさまざまな出来事がありました。ほんの一部ですが、ちょっと御覧下さい。

新潟災害救援レポート 新潟県中之島町の現場より

災害は忘れた頃にやってくる。まさにそんな心境だった。中之島町の災害現場は何気ないどこにでもある場所のように見えたが、2週間前の豪雨で町は一瞬にして様相を変えた。今回全国から多くの救援活動のボランティアが来ているが、町が元の状態に戻るためには何年もかかるのではないだろうか。またそれ以上に今回の豪雨災害が与えたショックは中之島町の住民には永遠に残るだろうと思う。



救援活動をしてみて、今、我々が住んでいる長野市も同じような災害が起こったらどうするべきか、今一度考えていくべきだと感じた。

救援活動をしてみて、今、我々が住んでいる長野市も同じような災害が起こったらどうするべきか、今一度考えていくべきだと感じた。

まちで見かけたボランティア

鉄道内ボランティア
IR長野駅の切符券売機の前で、あつちからもこつちからも声をかけられ、忙しそうに切符の買い方を親切に教えている学生を登壇！何をやっているのか聞いてみると、案内ボランティアです。とのこと。信大附属長野中学3年の長岡純人君はヒューマンライフという学校の授業の一環で、一週間ボランティア活動をしているという。電車が大好きで、時刻表や乗り継ぎについてもほとんど頭の中に入っていて、日頃から駅に足を運び電車の写真を撮ったりしているそうだ。そんな得意技を活かして今回のボランティア活動も思いついたらいい。最初戸惑ったIR長野駅側も彼の一生懸命さとお客さんの反応のよさに協力をお願いします。姿勢を臨んでいる。(戸田)

グリーンノート

朝顔の思い出

夏の朝、いくつ花が咲いたかなと数えるのが楽しみなのが朝顔。夏の定番の朝顔には一人一つ以上の思い出があるような気がします。いかがでしょうか。息子が小学校に入りたての頃、休む日が続きました。担任の先生が「〇〇くんの朝顔の芽が出てきたよ。」と声をかけてくれたあたりから、体調もどってきて行けるようになりました。遠くて小さなできごと、でも朝顔を見る度にその頃にもどれます。



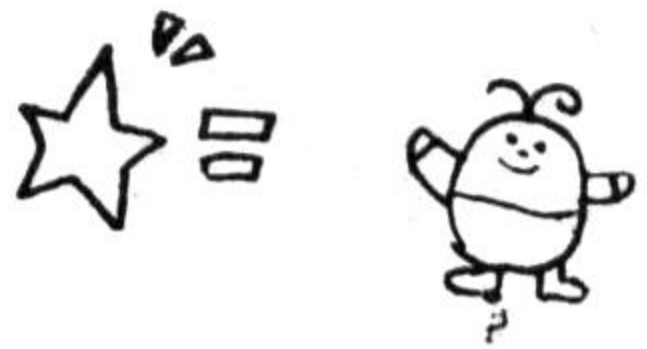
花の色、形、大きさが種々で、仕立て方も自由自在の朝顔は、日本の夏に実によく合います。

グリーンクラブ 徳永

かすみ草
第32回
グループ名
パッチワーク
セントポーリア
少しでも福祉に役立てたらと集まった人達のパッチワークの会、セントポーリアを紹介します。毎月第2・4の木曜日にふれあい福祉センターで楽しみながら行っています。布の柄あわせ・配色を考えながら

紹介者 紙ねん土 かすみ草
らひとつひとつ丁寧に良い作品を作り、売り上げを福祉にと、こつこつと頑張っているグループです。





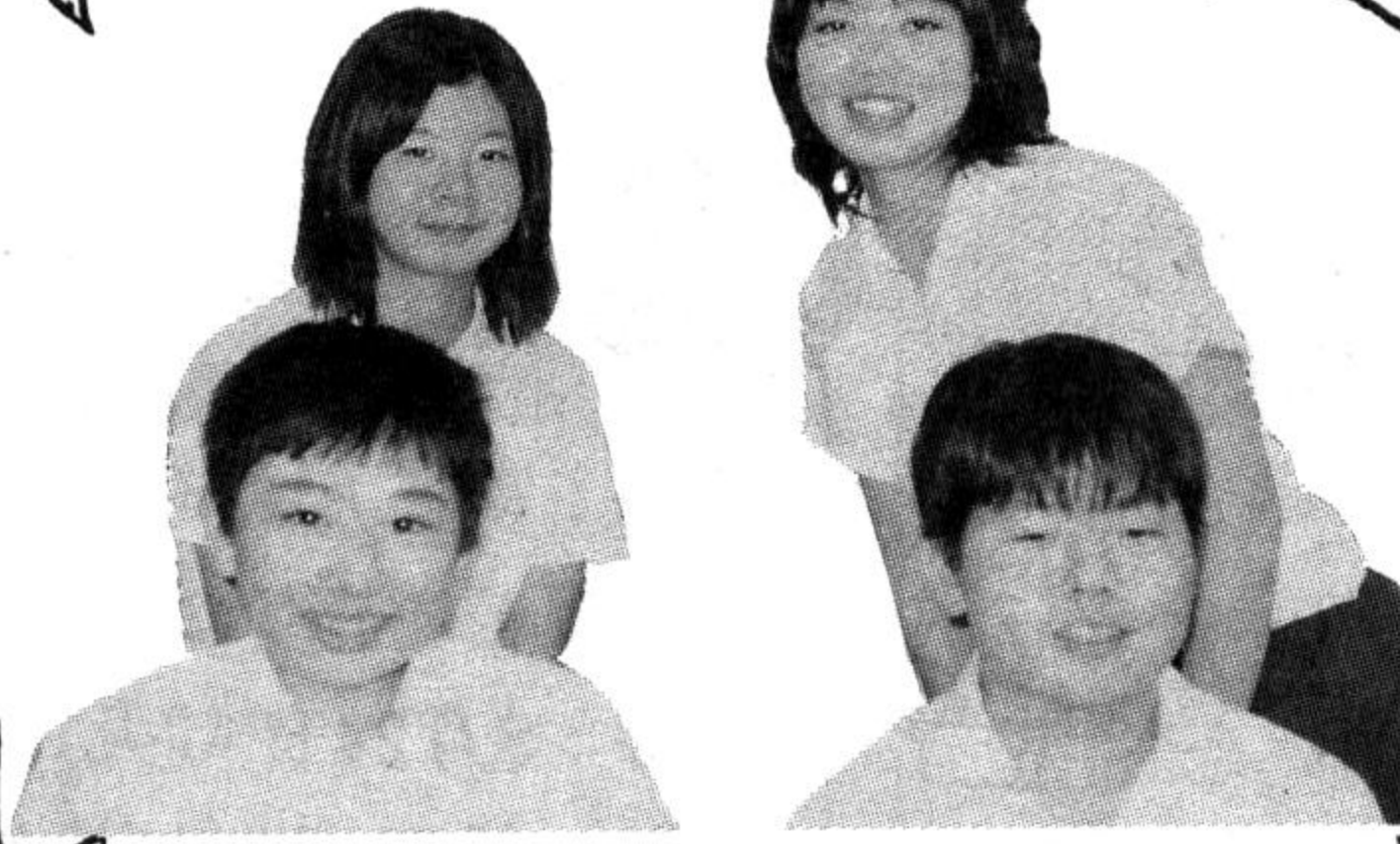
付属中2年生社会福祉体験学習



私たちはHuman Weekという社会体験学習で、1週間ボランティアセンターで働かせていただきました。そこから自分の持っている生き方の問いを解決するとともに、自分の生き方や希望を見い出しました。

北原 ボランティアセンターで様々な仕事をさせてもらう内にボランティアは相手が好きでくれるだけでなく、ボランティアをやっている自分も相手が好きでくれると「や、て良かった」と思えるので、ボランティアはとても良いことだと思いました。

小林 初めはボランティアは人の為だけにしかならず、自分の得にならないと思っていた私も、人の笑顔が見れ、お互いにうれくなり、お互いの人生をすばらしいものにしていくということをボランティアに来て気付くことができたので良かったです。



山岸 このボランティアセンターに来て、ボランティア活動をしているお話しする機会を得ることが出来ました。そのお話しして、僕は、ボランティア活動とは、最初、人を助ける、自然を守るという事だと思っていましたが自分お他の人の心を豊かにする、そういうものだと思いました。

金子 「ボランティアはちょっとした人助け」と浅く考えていたのは最初の僕です。ボランティアをしてからボランティアの見方が変わりました。今の僕は誰でもできる「やった分だけ嬉しさが返ってくる」というのがボランティアだと思っています。こういう事に気付いて、色々な人がボランティアをやり、喜びを感じてほしいなと思った。

💡ボランティア = 誰もができて、誰もがうれしくなれる事!

長野市ボランティアセンター 7月の相談現場

- ボランティアしたい
 - 市内人材センターから、シルバーの日に草取りや、吸殻拾いをしてるが、もっと人と接するボランティア活動をしたい。
 - 地区の回覧でボランティアかわらばんを読んでいる。昔パン屋をやっていたことを生かして何かボランティアをしたいと思う。
 - 昔着ていた着物をなにかに使えるだろうか。たくさんあるので寄付したい。
 - ボランティアを求む
 - 長野県社協より、新潟の水害復旧の支援ボランティアの募集協力について相談がありました。
 - 知的障害者本人部会の立ち上げのため準備委員会メンバーを募りたい
 - 外出困難な80代の男性から、囲碁のお相手ボランティア募集。
 - 市内児童センターより、紙粘土教室を開きたい。紙粘土のボランティアグループありますか。

- 情報を求む
 - 長野市教育委員会より、放課後の学生のボランティア状況について問い合わせがありました。
 - 精神障害地域支援センターより、ボランティア受け入れをしているが、ボランティアセンターでは精神関係の入門講座を開いていますか。
 - 県内の市役所福祉課より長野市ボランティアセンター運営について、長野市ボランティア連絡協議会についての問合せがありました。
 - 隣接市小学校から、教員と保護者向けのアサーティブについての講演およびワークをやってもらえる講師はいますか。
 - ボランティア活動支援
 - 市内中学校3年担任から、総合学習の時間で「福祉・ボランティア」を選択した学生たちの活動について相談がありました。
 - ボランティア活動上の悩み
 - ボランティアアドバイザーから、ボランティアの啓発について相談がありました。
 - その他
 - ボランティアをお願いしたが、お礼についてはどのような具合なのだろうか。

現場状況 7月分

相談件数		問い合わせ件数		(取りまとめ期間:7月1日~7月29日)	
ボランティアしたい	19件	会議室予約	297件	情報カード受付	58件
ボランティア求む	14件	伝言	224件	機材貸し出し	54件 295ヶ
情報求む	22件	情報提供	382件	ボランティア保険加入	
ボランティア活動支援	2件	機材貸し出し	185件	ボランティア活動保険	43件
ボランティア活動上の悩み	4件	チラシ・掲示板	107件	行幸用保険	16件
よろず相談・悩みごと	3件	その他	385件	在宅福祉サービス総合保険	0件
ボランティア保険・事故処理	3件	受付(よりいい会等)	630件	送迎サービス補償保険	0件
その他	8件	合計	2210件	合計	59件
合計	75件				



催し 介護・福祉のたまり場 わいわい広場勉強会

介護・福祉の資格取得を目指す方々の情報交換を兼ねた勉強会。

日時：8月20日（金）18：30～
参加費：¥200

場所：もんぜんぷら座3F会議室
問：まごころ福祉サービス 山田
Tel 080-1085-9107

催し

シニアのための携帯電話講座&ケイタイ電話広場 携帯電話、使ってみませんか？

◆シニアのためのケイタイ電話講座 日時：奇数月第3火曜日

携帯電話をお持ちでない方 10：30～12：30

〃 お持ちの方 14：00～16：00 共に定員10名

◆シニアのためのケイタイ電話広場（3回シリーズ）

日時：奇数月毎週木曜日 13：30～16：00

両講座共要事前申込、参加費¥150。対象は60歳以上の市民。

問：生き甲斐文化研究所 ケイタイ電話講座係 Tel/fax 026-225-0300

催し 第12回NHK全国巡回朗読セミナー 日本語センターの朗読技術を共に学びませんか？

日時：9月13日（月）9：30～16：30

受講料：¥7,000

場所：長野市ふれあい福祉センター 4F2.3

問：長野市ボランティアセンター Tel 026-227-3707



催し 第138回つぼで家族の健康づくり 講演：炭で美味しい水を作ってみませんか！

講師：夢工房むらた 村田茂代表

他「夏バテ回復の手当てとつぼ」質疑応答、健康相談有。

日時：8月24日（火）13：30～15：30/参加費無料

場所：長野市西部保健センター/参加締切：8月21日（土）

問：鍼灸サポーター21会 近藤 Tel 026-228-8730

催し りんご畑で元気になろう！ りんご園で風に吹かれながらの一時はいかが？

各種講習会有り。場所は長野市朝陽地区。

日時：8月1日～24日/参加費：¥500～¥1,000

問：田舎の親戚 村松 Tel 090-7949-7660

催し 「アイ・ラブ・ピース」映画上映会 少女に笑顔。大地に緑を。風に愛を。

戦争しか知らないアフガニスタンの子供達のために、わたしにもできることがある。

日時：8月21日（土）10：20～/14：20～

場所：長野県教育会館/参加費無料

問：長野県教職員組合会館 中谷 Tel 026-235-6995

催し H16年度ボランティア活動振興助成金事業 公開プレゼンテーション

様々なグループの活動をちょっとのぞいてみませんか？

日時：9月5日（日）

場所：長野市ふれあい福祉センター/参加費無料。

問：長野市ボランティアセンター助成金係 Tel 026-227-32707



催し H16 福祉の職場説明会

福祉・看護の仕事、職種・資格について知りたい方、福祉職場に求職中の方、お気軽にご参加ください。

日時：8月10日（火）13：00～16：00

場所：メルパルクNAGANO/参加費無料

問：長野私権福祉人材研修センター
Tel 026-226-7330

催し 子どもに学ぶ 家庭教育講座

ぬくもりのある家庭とは…？

日時：8月24日（火）

10：00～12：00

場所：長野市ふれあい福祉センター5Fホール

その他：託児有/入場無料

問：信濃家庭教育研究所
高澤
Tel 026-296-0145

催し 飛騨高山 への旅

ひまわり号は障害者とボランティアとが友情を深め、交流し旅をするバスや列車のこと。

日時：9月5日（日）

参加費：大人¥8,000

中高生¥7,000

小学生¥6,000

問：長野ひまわり号の会 太田
Tel 090-1123-5401



次回かわらばんは9月8日発行予定です。掲載希望団体は8月24日迄に原稿をお寄せください。

長野市ボランティアセンター 滝沢 Tel 026-227-3707/fax 224-1513 /vc103@vnetnagano.orr.jp

情報かわらばん

情報

宅老所開設の際の補助を希望される方へ

介護保険サービスとして宅老所（小規模な施設）を長野市に開設する際、施設整備資金を補助する制度があります。お気軽にお問い合わせを。対象はNPO法人（取得見込み含）で、10人以下の介護保険法に規定する通所介護事業のH17、3月迄の開設をお考えの方。

問：長野市高齢者福祉課 轟 Tel 026-224-5029

情報

天然温泉に入りませんか？ 鬼無里の里の旅

車椅子対応のリフトバスが出ます。入浴介助が必要な方はご家族またはヘルパー同行のもとご参加ください。

日時：9月12日（日）9：30長野市役所前集合

参加費：¥4,000（※ボランティアは¥3,000）

締切：8月15日（日）



問：珈琲タイム 志津
Tel 026-234-1552

情報

H16年度ボランティア活動振興助成事業 応援します。ご近所力！

※A：初めの一步部門、B：活動をもっと豊かに部門どちらかを選択すること
高齢者/障害者/子供に対する活動、学習研修活動、地域文化活動、その他に対して5万円を限度に助成。

締切：8月20日（金）当日必着。



問：長野市ボランティアセンター 助成金係
Tel 026-227-3707

情報

いつも 傾聴でんわ

なんでも気軽にお話ください。

TEL 026-225-0404

月・土 14：00～18：00

水 14：00～21：00

問：長野市社会福祉協議会

長野市ボランティアセンター

いつも傾聴電話係

Tel 026-227-3707

情報

一人で悩んでいませんか？ 呆けの電話相談開始

全国どこからでも通話無料「ぼけの電話相談110番」開催中。相談日は土・日・祝日を除く毎日

相談電話：0120-294-456

受付時間：10：00～15：00

問：（社）呆け老人をかかえる
家族の会事務局

Tel 075-811-8195

情報

犯罪に遭ったら一人で悩まない で私達に電話をください

「犯罪被害者の力になりたい」そんな思いから専門的な研修を受けたボランティアが電話相談に応じ、事件・事故・災害などの被害者やその遺族等が抱える悩みの解決や、心のケアなどに当たります。お気軽にお電話ください。

相談日：火・金（祝日除く）15：00～19：00

相談電話：026-233-7830

問：長野犯罪被害者支援センター事務局

Tel 026-233-7848

催し

8月の月例情報市場

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会。

日時：8月18日（水）15：30～17：00/参加費無料。

場所：長野市ふれあい福祉センター

問：ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク Tel 026-227-3707

催し

第53回長野県社会福祉大会 ひろげよう夢、育てよう福祉のこころ

時代に応じた地域福祉を総合的に進める為、福祉関係者が今度どのようなネットワークを構築し、具体的な実践をしていったらよいのかを研究・競技することを目的に開催。

テーマ：「地域でともに暮らす 共生社会をめざして」

～人間的絆を深め、豊かな暮らしを創る～

主論者：西村和美氏（NPO法人このゆびと一まれ副代表）

宮島 渡氏（高齢者総合施設アザランさなだ施設長）

片桐美登氏（駒ヶ根市社協福祉活動振興係長）

コーディネーター：小野敏明氏（田園調布学園大学人間福祉部助教授）

日時：9月9日（木）/参加締切：8月17日（火）

場所：駒ヶ根市総合文化センター/参加費：¥1,500

問：長野県社会福祉協議会 Tel 026-226-2036

情報

カブトムシ、あります 夏祭や育成会のイベントなどにいかが？

少し有料です。

問：どんぐり作業所 上條

Tel 026-299-3288/Fax 299-3266

催し

幻の小麦と手打ちうどん会

川中島の「みどり農園」で育てた幻の伊賀筑後丸ゴシ種の小麦粉で手打ちうどんを味わいませんか？

日時：8月20日（金）10：30～13：30

場所：ふれあい福祉センター

参加費：¥800（お土産付）

問：みどりの市民 渡辺

Tel 026-229-7731

催し

第16回平和のための信州・戦争展 ちょっと立ち止まって考えてみませんか？

日時：8月13日（金）～15日（日）/場所：もんぜんぷら座

参加券：¥300（高校生以下無料）

問：第16回平和のための信州・戦争展実行委員会

Tel 026-228-8415

出会いをつくる
新鮮!! 情報紙

求む!

ボランティア

します!

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む J1市民参加清掃活動参加者 募集中
長野びんずるで清掃活動を行います。

集合場所：JR長野駅善光寺口広場
日時：8月7日（土）12：00～16：00
問：JT長野支店 池田 Tel 026-224-5225

求む 子供達と元気に遊ぼう！

日時：8月20日迄
時間等応相談
問：緑ヶ丘児童クラブ
Tel 026-222-2928

求む 書き損じ葉書、ありませんか？

書き損じ葉書で長野市のボランティア活動支援ができます。
問：長野市ボランティアセンター 滝沢
Tel 026-227-3707

求む おいしいラーメン、食べに行きませんか？
利用者の休日の余暇活動支援展開中！

知的障害がありますが皆元気いっぱいです!!
日時：8月29日（日）時間未定
問：ワカウチきり 松丸 Tel 026-263-4059

求む 新しい世界を創り 新しい自分を知る
海外ボランティア募集中

海外ボランティア活動を通じて、世界の人達と国際交流をしよう！7月から9月にかけて随時出発、事前説明会有。
問：株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 旅行事業部 杉田
Tel 03-3560-22331/e-mail sugita@arukikata.co.jp

求む キャンプリーダー募集
湖で思いっきり遊ぼう！

子供達と一緒に楽しく遊ぶリーダーを募集。
日時：9月5日（日）費用は特にかかりません。
問：ジュニアアベンチャークラブ長野 大谷 Tel 080-3411-1624

求む 第23回ふれあいまつり
運営ボランティア

障害の有無に関係なく一市民としてふれあう、ふれあいまつりの全体企画及び各コーナーの運営に参加しませんか？
昼食支給、交通費各自負担。
当日：10月3日/場所：長野市若里公園
問：長野市ボランティアセンター 寺島・坂口 Tel 026-227-3707

求む 被害者支援ボランティア養成講座
受講者募集中

電話相談を通して事件・事故・災害などの被害者やその遺族等が抱える悩みの解決や心のケアに当たる支援ボランティアの養成講座。応募者は約1年間、全16回の事前研修を受けて頂き、終了後は審査及び本人の意向を伺った上で支援ボランティア（犯罪被害者相談員）を委嘱します。応募資格は20～60歳迄。本センターの趣旨に賛同し、この活動に参加する意欲のある方。
受付期間：8月2日（月）～8月31日（火）必着
応募書類：申込用紙（写真を添付）「自己形成史」400字詰め原稿用紙5枚以上を共に提出。
応募所郵送先
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2長野県庁東庁舎内
長野犯罪被害者支援センター
問：長野犯罪被害者支援センター事務局
Tel 026-233-7848/fax 233-7847

求む 第114回国際ボランティア作文コンクール
みんなの作品大募集！

国際協力に関するご意見・体験などを自由に書いて応募してください。たくさんの皆さんの応募をお待ちしております。詳しくはお近くの郵便局までお問い合わせください。応募締切：9月10日（金）
問：長野中央郵便局 貯金課 上村 Tel 026-226-2550

**ボランティアセンターからの
お知らせ**

会議室の予約時の内容と申請時の記述が違うケースがあります。トラブル予防の為に会議室の予約は間違いのないようお願い致します。
長野市ボランティアセンター Tel 026-227-3707